

# 大宮

THE OHMIYA HACHIMAN

令和5年(2023)

皇紀2683年

御鎮座960年奉祝

令和5年わかば祭り(春の大祭)号

【第126号】



第42回 稚児行列巡行(5月3日わかば祭り第一目ノ儀)

# コロナ禍終熄を祈り 御鎮座九百六十年を奉祝して わかば祭り(春の大祭)の道統を守る

## 宮司 鎌田紀彦

今年も当宮の春の大祭(わかば祭り)の頃に、神宮外苑より拝領のナンジャモンジャ(ひとつばたご)が青葉の上白い雪が積もったように美しく、4月15日頃から咲き始めております。



同様に桜の開花も早く3月彼岸の頃が見頃でありました。春の花を次々と咲かせて楠木等も春の落葉で世代交代し、若葉が芽吹きやがて青葉が美しく映えており、自然界の息吹きの速さを感じざるを得ません。

3月18日・19日の2日間にわたり、志野流初代志野宗信公『五百回忌遠忌法要』(京都)臨濟宗相国寺派東山慈照寺(通称銀閣寺)で行われ、志野流香道現家元第20世松隠軒幽光齋宗玄様よりお招きいただきました。18日は当宮の大宮幼稚園の第73回卒園式があった為、19日の法要に参列させていただきました。

『日本書紀』によると、日本の香文化の幕開けは、推古天皇3(595)年4月、香木が淡路島に漂着したことに始まります。香木は、仏教という宗教儀礼の

中で重用され、やがて平安時代、遣唐使の廃止による国風文化の勃興に伴い、中国とは別の日本独自の「香の道」の歩みが始まります。香は和歌とともに、貴族たちが自らを表現する重要な手段となりました。室町時代中期、応仁の乱後、東山慈照寺(銀閣)に於いて、足利八代將軍義政の同朋衆 志野宗信(1443年-1523年3月18日)の手によって香道の基礎が作られました。以後、志野流は500年以上にわたり現家元二十代幽光齋宗玄まで連綿と継承されています。

(当日の榎より抜粋)  
尚、家元後嗣(次期家元)の一枝軒宗慈様も活躍されています。

献香式は「国宝 東求堂」。法要は「方丈」。名香席は「泉殿」。名香は『賀』61種名香の一つ。足利義満公秘蔵の香木であり以降この香木は代々將軍家お祝いの際に焼き出されました。呈茶席「書院」。展覧席「集芳軒」。点心席「西指庵」。「東求堂」「弄清亭」を特別拝観させていただきました。

当宮では、御鎮座九百四十年及び九百五十年式年大祭を奉祝して献香式を現家元第20世松隠軒幽光齋宗玄様により御奉仕いただきました。又、数年前まで毎年1月末の日曜日に志野流香道の聞香会を茶室「神泉亭」で、点心(会食)を清涼殿2階全席で盛大に開催されておりました。

(現在は、ご奉仕をする方がご高齢のため中断されております)

さて、裏千家今日庵鵬雲斎千玄室大匠(先代15代家元)が、4月19日にめでたく御年百寿を迎えられました。20日には、首相官邸で顕彰式が行われ、大匠のご功績について岸田首相は「外交の分野で文化交流を中心に、長年にわたって力添えいただいた。大変感謝している」と述べられたことを新聞で拝読致しました。

当宮では来る5月13日(土)に、大匠のご奉仕により第23回献茶式が斎行されることと決定しています。誠に有り難い光栄なことでございます。



顕彰式で岸田文雄首相から顕彰の盾を受け取る茶道の裏千家前家元、千玄室氏  
出典：首相官邸ホームページ  
([https://www.kantei.go.jp/jp/101\\_kishida/actions/202304/20kenshoshiki.html](https://www.kantei.go.jp/jp/101_kishida/actions/202304/20kenshoshiki.html))

4月1日より産経新聞「話の肖像画」に連載されております大宗匠の人となりを毎日楽しく読ませていただいております。毎日のタイトルだけでもお伝えします。

- 1 起床、体操、座禅、お経：百寿を迎え
- 2 こひへつらわな利休、茶の哲学
- 3 厳しくも、よき両親の元で
- 4 家元の厳しさ知った父の一言
- 5 乗馬に熱中、世界観広げた学生時代
- 6 徴兵召集：仲間と覚悟の茶会
- 7 背面飛行で目を回し、でも楽しかった
- 8 海軍入隊 厳しい「修正」に負けじ魂
- 9 特攻「熱望」「希望」「否」のいずれかに

- 10 出撃命令：21日は私の命日 友との再会
- 11 父と米兵：気がついた私の使命 大徳寺で参禅 老師との出会い
- 12 生かされている：自分を見失わず 若宗匠として「お人」に接する
- 13 「和敬清寂」を紹介したい 占領下の渡米
- 14 湯川博士と鈴木大拙先生
- 15 「お人」に恵まれ
- 16 指導者育成へ淡交会と裏千家学園 一目でこの人：「戦友」となった妻
- 17 父の急逝、奥義は心で伝えられ
- 18 家元は「死んでも修行」父の言葉を胸に
- 19 以下まだまだ続きます。

わかば祭り(春の大祭)が近づいてまいりました。5月3日の第一日ノ儀にはこのもの祭りが斎行され、コロナ禍で中断されておりました第42回目の稚児行列が4年ぶりに復活します。午後には江戸消防記念会第九区の梯子乗りが奉納され、4日は第一日ノ儀 午後には植樹祭(献木式)が、5日は当日祭(尚武祭)が斎行されます。皇室を中心とする我が国の隆昌と世界の平和を祈り、今年の五穀の豊穰とあらゆる産業の発展、ご家業の繁栄、氏子崇敬者のご家庭の平安をお祈りさせていただきます。古来より春の大祭は、秋に感謝する秋祭りや新嘗祭と一対の祈年祭でもあります。又、今年は御鎮座九百六十年の奉祝の年でもあります。ご神恩に感謝しつつ、コロナ禍の終熄退散をも祈りつつ、盛大に斎行させていただきます。青葉繁る大宮の杜へお運び下さいませ ようお待ち申し上げております。(令和5年4月21日記)

御鎮座960年 奉祝

# わかば祭り(春の大祭)

御鎮座九百六十年を迎える境内は木々の緑も鮮やかに風薫る季節を迎えました。5月3日より5日まで御鎮座九百六十年奉祝わかば祭り(春の大祭)を盛大に斎行致します。大祭初日の3日には**第一日ノ儀**と**第二日ノ儀**と午後には**植樹祭(献木式)**が行われ、**第42回稚児行列**が行われます。4日は**第二日ノ儀**と午後には**植樹祭(献木式)**が行われ、**献木のご協賛をいただいた方**に**観葉植物**が授与されます。5日には**当日祭(尚武祭)**が大祭式にて斎行されます。当日祭(尚武祭)では、茶道裏千家淡交会東京第7西支部による奉茶の儀が行われ、宮司の祝詞奏上にて皇室国家の安泰・弥栄・五穀豊穡が祈念されます。またコロナ禍のため奉祝行事の多くは中止のやむなきに至っていましたが、本年は感染症対策を十分に講じた上で下記の通り催されます。5月3日・4日には表参道にて春の風物詩**大宮八幡植木市**が開かれ、神門内では4月29日・30日、5月3日・5日に**みどりの会即売**が行われます。尚、5月13日には**第23回**を迎える**茶道裏千家献茶式**が行われます。

## 第42回稚児行列



コロナ禍のため3年にわたって中止となっていた**稚児行列**が、本年は稚児の募集を大宮幼稚園園児を中心に3日の午前11時より行われます。わかば祭り**第一日ノ儀(稚児健康祈願祭)**終了後、社殿前で記念撮影をし、佼成学園吹奏楽部を先頭に猿田彦、陣羽織姿の役員総代、りんどう会役員の供奉に続いて**お稚児さん**、BS・GS、飛び入り参加自由の**太鼓山車曳きの子ども**たちの行列が神門を出発、神社周辺の約1.3キロを練り歩きます。稚児は神々の依代として、その奉仕をすると健やかに成長するといわれています。

## 大宮八幡植木市

表参道では大祭期間中の3日・4日に春の風物詩**大宮八幡植木市**が開催されます。色鮮やかな花々や新緑の苗木、園芸用品などが並べられます。

### 〜献木のご協賛と観葉植物の授与〜

5月4日(みどりの日)は午後2時より**大宮八幡宮植樹祭(献木式)**が斎行されます。当宮みどりの会主催で第73回全国植樹祭(6月4日、岩手県陸前高田市にて開催)に因んで斎行され、各ご家庭にも緑を届けようと**献木**のご協賛をいただいた方々には**観葉植物**が授与されます。献木のご協賛は社頭にて承っております。

献木初穂料 一口 二、〇〇〇円

※年間を通じて承っております。但し、観葉植物の授与は植樹祭にご協賛の方のみとさせていただきます。

御鎮座九百六十年奉祝  
**わかば祭り(春の大祭)**  
祭典と奉納神賑行事

### 祭典

#### 昭和祭

4月29日

躑躅育木祭並びに**早月朔旦祭**

5月1日

わかば祭り**第一日ノ儀**

5月3日

こどもの祭り(稚児健康祈願祭)

5月3日

**第42回 稚児行列** 巡行

5月3日

江戸消防記念会第九区奉納梯子乗り

5月3日

わかば祭り**第二日ノ儀**

5月4日

**大宮八幡宮植樹祭(献木式)**

5月4日

(主催みどりの会)

5月4日

わかば祭り**当日祭(尚武祭)**

5月5日

奉茶裏千家(淡)東京第7西支部

5月5日

わかば祭り**終了奉告祭(直会乃儀)**

5月5日

### 神賑行事

春の弓道奉納射会(門人のみ)

4月29日

ユニセフバザー

5月3日

スカウトバザー

5月3日

佼成学園吹奏楽部奉納演奏

5月3日

古武道武技奉納

5月4日

野点茶会

5月5日

(裏千家淡交会東京第7西支部)

5月5日

方南エイサー踊り奉納

5月5日

雅太鼓奉納演奏

5月5日

奉納**献燈提灯**

4月29日〜5月14日

園児画展

4月29日〜5月14日

みどりの会**即売**

4月29日・30日、5月3日〜5日

**大宮八幡植木市**

5月3日・4日

露店

5月3〜5日

**第23回 茶道裏千家 献茶式** 5月13日

### 昭和祭斎行

昭和天皇のお誕生日にあたる、4月29日（昭和の日）午前10時より、昭和天皇のご聖徳をおたえ申し上げる昭和祭が中祭式にて厳粛に斎行されます。昭和天皇は、御父君の大正帝の摂政宮を務められたのち、若くしてご即位され、戦前（16年間）、戦中（4年間）、戦後（43年間）の62年14日間と、明確な記録が残る歴代天皇の中で最も長く在位されました。わが国は、国民のたゆまぬ努力によって、戦後の焼け野原から立ち上がり、見事に復興し、世界第2位の経



### 毎月お朔日参りには 月代り御幣守護を!!

当宮では古くより朔日（二日）、十五日に月参りをされる方々が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受けいただくことと、毎月の朔旦祭に併せてお朔日参りのご祈願として「月参り大御幣振り神事」を奉仕して「月代り御幣守護」を授与しております。月毎にお申し込みの場合は初穂料三、〇〇〇円、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三〇、〇〇〇円にて斎行させていただきます。



済大国にまで発展を遂げましたが、そこには昭和天皇が香淳皇后と共に、常に国民に寄り添い「国安かれ、民安かれ」と世界の平和を祈られた尊いお姿があったのです。昭和祭は昭和の日制定に伴い、平成19年から奉仕致し今年で17回目を迎えます。

### 江戸消防記念会第九區 奉納梯子乗り

春の大祭期間中の5月3日、昨年には賽銭箱奉納の奉祝行事として行われた江戸消防記念会第九區による奉納梯子乗りが行われます。永年培われた伝統の技による梯子乗りは壮観です。



### 第23回茶道裏千家献茶式

5月13日に第23回茶道裏千家献茶式が茶道裏千家今日庵鵬雲斎千玄室（先代15代家元）のご奉仕にて斎行されます。宮司の祝詞奏上の後、御齡100歳を迎えられた大宗匠のお手前にて濃茶と薄茶がご神前に献じられます。

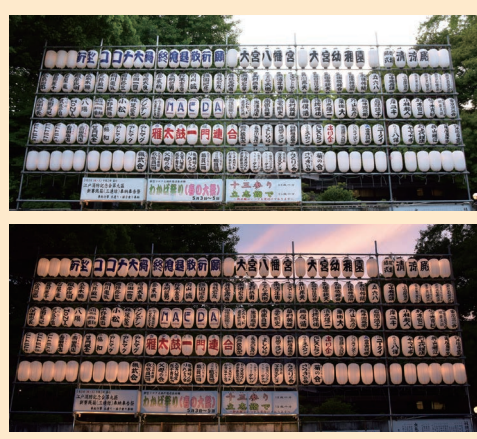


### 新春社頭往来

1月1日 立正佼成会会長 立正佼成会理事長 立正佼成会 立正佼成会杉並教会长	庭野 日鏡氏 國富 敬二氏 庭野 皓司氏 千葉 和男氏
1月2日 弓馬術礼法小笠原教場 三十一世宗家	小笠原清忠氏 他35名
1月4日 日本ブライダル文化振興協会	清原 當博氏 勝保 伸氏 野田 兼義氏 他4名
1月5日 杉並税務署	署長 吉田 憲司氏 副署長 森下麻友美氏 副署長 本間 大介氏 副署長 的場 浩司氏
俳優 音楽家 1月10日 紙（神）彫刻士（前世みちびき画家）	GDX a k a s h u氏 中村 鳳伯氏
1月11日 日枝神社宮司	宮西 修治氏
1月12日 大國魂神社宮司	猿渡 昌盛氏
1月14日 歌舞伎俳優 ご子息	中村 獅童氏 小川 陽喜氏
1月19日 オリンピック金メダリスト	三宅 義信氏 八坂紘一郎氏 呑田 好文氏
1月26日 杉並消防署 署長 予防課長	岡田 一将氏 中川 英二氏

### 献燈提灯奉納のご案内

わかば祭りの期間、4月29日から5月14日まで皆様方のお名前（ご社名）を入れた献燈提灯を掲出致し、ご社頭を賑々しくお飾りさせていただきます。



### 春の大祭後の主な行事（予定）

御嶽榛名神社例祭	5月16日
第44回大宮さつき展	5月22日～6月1日
神功皇后祭	6月3日
大祓詞書写会	6月17日～25日
夏越の大祓・茅の輪くぐり	6月30日
第25回乞巧奠	7月1日～15日
大宮八幡乞巧潜り	7月1日～15日
七夕の神遊び（技芸上達祈願祭）	7月7日
雅楽の夕べ（雅楽と神楽舞）	7月1日・8日
第23回納涼大宮天神こどもまつり書画行燈掲出	7月1日～25日
第23回杜のひびきinおおみや（和大鼓演奏）	7月24日・25日
多摩清水社例祭（水神祭）	8月1日
第40回戦没者慰霊祭	8月15日
別当墓地秋季慰霊祭	9月23日
第23回十五夜の神遊び・月の音舞台	9月30日

# 杜の話題

## 新春の表情



元旦午前零時、令和5年の幕開けを告げる宮司の一番太鼓が境内に響き渡り、神門が開かれると新春を祝う参拝者で境内はあふれかえりました。ご社殿では歳旦祭併せて新春厄除開運初大祈願祭(一番祈願祭)が宮司奉仕により斎行され、新たな年の幸を祈りました。続いて午前2時30分には宮司により多摩清水社にて若水が汲まれ、ご神前にお供えされました。



午前10時、立正佼成会庭野日鏡会長以下役員の方々が参拝され、一年の平安を祈念されました。2日は、小笠原流宗家による恒例の



新春除魔神事臺目の儀・大的式が奉納されました。3日には皇位の大元始めを寿ぐ元始祭が午前9時より斎行されました。

## とんど焼き

小正月の恒例の行事であるとんど焼き(古神矢・古神札等焼納祭)が、1月15日に斎行されました。ご社殿にて月次祭並古神矢・古神札等焼納祭告祭齋行ののち、境内の齋場で古神矢・古神札等焼納祭を斎行。祝詞奏上後の火鑽神事では御火鑽具を用いて浄火が熾され神職・参列員らが大祝詞を奏上する中、古神矢・古神札・正月飾りが焚き上げられ、感謝と除災を祈りました。



## 北参道鳥居起工清祓

御鎮座960年奉祝記念事業として北参道に鉄製の鳥居が建立されることとなり、起工清祓式が3月10日に行われました。宮司、鳥居のご奉納をいただいた石松尚典様、設計並びに施工関係者等11名の参列のもと、鳥居が建つ予定の北参道にて式が執り行われ、土地と鳥居の部材のお祓いを致しました。



も、鳥居が建つ予定の北参道にて式が執り行われ、土地と鳥居の部材のお祓いを致しました。

## 初天神大祭

1月25日、大宮天満宮にて初天神大祭が斎行されました。年初の天神祭は受験の



シーズンとも重なるため、受験生や受験生の親御さんたちが参列され合格・学業成就を祈願しました。

## 文化財防火デー消防訓練

昭和24年1月26日、奈良・法隆寺の金堂より出火した火災は、国宝の十二面壁画を焼失してしまいました。火事による貴重な文化財の消失を防ぐため、この日は文化財防火デーに制定され、当宮では杉並消防署のご指導のもと、毎年消防訓練を行っています。午前10時半、社殿より出火との想定で訓練を開始。通報連絡、避難誘導、初期消火に続いて杉並消防署、杉並消防団第2分団、当宮自衛消防隊により、ご社殿の屋根へ向かって一斉放水を行いました。地元大宮地区町会の皆さんにもご参加いただき地域の防災意識を高めました。



## 節分祭 一年の邪気を祓う

季節の変わり目である立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分といい、年4回のうち特に立春前日の節分には、一年の邪気を祓う重要な神事が行われてきました。

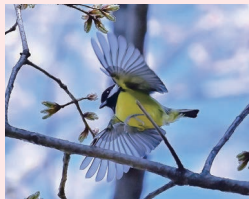


当宮では、午前10時より節分祭を斎行。祝詞奏上の後に桃の弓・葦の矢で「裏鬼門・天・地」の魔を射る「追儺の除魔神事」を奉仕しました。次いで外拝殿臨時参列席にて、弓に矢を番えずに弦を鳴らす音で魔障を退散させる鳴弦の儀が宮司奉仕により行われました。次に当宮幼稚園の園児たちも参加して豆撒き神事を行い、ご参拝の皆様も参加しました。



### キバラガラがやってきた!

当宮の神苑に2月頃、キバラガラというお腹が黄色い雀のような大きさの小鳥が姿を見せました。この鳥は中国内陸部の固有種で、日本に飛来する迷鳥の中でも極めて稀な鳥とのこと。この珍しい鳥を観察しに多くのバードウォッチャーがカメラを携え神社を訪れていました。



和田掘愛鳥会 前坂靖弘氏提供

### 紀元祭並檀原神宮選擇

2月11日は紀元節、神武天皇が檀原の宮にご即位され、わが国が建国された記念の日です。午前10時、まず社殿



紅の初午幟がはためく中、宮司以下祭員により齋行されました。当神社には姉妹友好神社の竹駒神社(宮城県岩沼市鎮座)も祀られており、同社の初午祭は旧暦で齋行され(本年は3月5日)、陸奥に春を告げるお祭りといわれています。

### 大宮稻荷神社初午大祭



大宮稻荷神社の初午大祭が本年は2月5日に齋行されました。多くの初午幟奉納者の参列のもと、ご奉納頂いた210基の深

### 天長祭

2月23日、天長祭が中祭式にて宮司以下祭員奉仕により厳粛に齋行されました。引き続き清涼殿特設会場にて



2月25日は天満宮の御祭神である菅原道真公の命日にあたり、梅の花をこよなく愛でた道真公を偲び梅花祭が齋行されました。梅が

### 梅花祭

皇居を遙拝、聖寿の萬歳を三唱。天皇陛下のお誕生日をお祝いし、ご長寿並びに国の弥栄を祈念致しました。

### 責任役員・総代改選

責任役員・総代の任期満了に伴い、4月1日付で新総代として定員40名中35名(内33名重任2名新任)が選出され、同日午前10時よりの朔旦祭に併せ総代就任奉告祭の後、ご神前で宮司より委嘱状が各総代に伝達されました。任期は、令和5年4月1日より令和8年3月31日までの3年間。また同日午後4時より、改選後初めての総代会を開催。神社規則第10条により、まず責任役員を選出、次いで議長団・監査が選出され、新議長により令和5年度事業計画並びに収支予算等についての議案が諮られ、満場一致で承認されました。

### 大宮八幡宮 新役員・総代(敬称略)

代表役員宮司	鎌田 紀彦	細野 修三	三枝 稔明	和山西地区	藤枝 宏友	大宮八幡宮 敬神婦人会 (りんどう会)
責任役員	藤枝 宏友 内山 誠 瀬沼 宏章 玉村 恭男 鈴木 憲章 末柄 哲男	大宮地区 荒井 昭一 古屋 進 前田 正文 五本木 勝 末柄 哲男 根岸 政明	方南北地区 岩崎 太良 齋藤多美夫 鈴木 憲章 岩田 一豊 細野 修三	和田東地区 梅田 清 横尾 信彦 佐野 晃央 岩船 守男 笠原 紀一 玉村 恭男	松ノ木地区 太田 正 瀬沼 年男 瀬沼 宏章 松島 敏之 井川 邦夫 松島 穰 小川宗次郎	兼務神社 総代会長 堀ノ内熊野神社 渋谷 達雄
議長団	丸山 光男	丸山 光男	丸山 光男	丸山 光男	丸山 光男	成宗白山神社 岩田 和保
監査	笠原 紀一	相川 雄一	山崎 政義	内山 誠	齋藤 恵一	尾崎熊野神社 蕪山 広司

### 乃木神社加藤宮司来宮

3月6日、東京都港区赤坂に鎮座する乃木神社の加藤宮司が来宮し、3月末日をもって宮司を退任されるにあたり、正式参拝されました。



### 東日本大震災復興祈願

「私どもは3.11を忘れません」  
3月11日の朝御饗祭では、復興祈願の祝詞を奏上し、**大祓詞3巻**を奉唱しました。また、地震発生時刻の午後2時46分



### りんどう会だより



1月15日、とんど焼き神事(古神矢・古神札等焼納祭)に併せて、恒例の厄よげぜんざいの授与奉仕を行いました。今年一年の無病息災を願ってご神火で調理したぜんざいは、日曜大安の吉日でもあったため長蛇の列となり、例年以上に多くの参詣の方々にお召し上がりいただきました。  
また、4月27日には、春の大祭に向けて、御垣内清掃奉仕が行われました。

大宮八幡宮敬神婦人会(りんどう会)では、随時会員を募集しています。お気軽に事務局(社務所)へお申し込み下さい。

にはご参拝の皆様にも呼びかけて、犠牲となられた方々へ1分間の黙禱を社殿前にて捧げました。

### 別当墓地春季慰霊祭

明治以前、当宮の別当寺であった大宮寺の歴代別当職、歴代の中野神主及び歴代宮司神職の御霊をお祀りする**別当墓地春季慰霊祭**が、春分の日である3月21日に斎行され、宮司が拝礼しました。

### 大宮八幡 桜まつり開催

3月21日から4月2日にわたって桜まつりが開催されました。当宮境内より和田堀公園内の善福寺川沿い

### 氏子青年会だより

3月12日、コロナ禍のため3年に亘って中止のやむなきに至っていた**氏子青年の集い**が総合結婚式場清涼殿羽衣の間・蓬萊の間にて行われました。開催に先立って社殿にて正式参拝が行われたのち、当宮宮司をはじめ来賓9名、合計36名が出席し盛会となりました。



には約700本の桜があり、時季になると一斉に開花して春を彩ります。期間中の土日は午後8時まで開門、境内には神楽殿前のベンチに緋毛氈が掛けられ朱傘が設置されました。篝火がたかれ、竹灯籠が点され、神社の風情を味わいながら春の一刻を多くの人が楽しんでいました。

### 勸学祭(ランドセルお祓い式)

小学校入学を祝いお子様の成長を祈念する**勸学祭(ランドセルお祓い式)**が、3月25日・26日に執り行われました。大きなランドセルを背負った新一年生たちが緊張と期待の入り交じった面持ちで祭典に参列、小学校生活の充実と交通安全をお祈りしました。参列の皆様にはランドセルお守りと合格鉛筆が授与されました。



### 戌の日詣りは

子育八幡さまの当宮で  
**安産祈願祭を!**

※戌の日以外でも随時お受けしております  
ご祈願の方には大宮八幡息長帯(安産腹帯)と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様  
が健康にご出産の時を迎えられますように  
と願いが込められた「母子緒守」「安産御守」  
「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。

大宮八幡息長帯



### 戌の日早見表

(令和5年5月〜9月)

9月	8月	7月	6月	5月
1日(金)	8日(火)	3日(月)	9日(金)	4日(祝・木)
13日(水)	20日(日)	15日(土)	21日(水)	16日(火)
25日(月)		27日(木)		28日(日)

は大安の日です

# 大宮八幡の杜 春から夏へ

## 神功皇后祭

令和元年は、ご祭神神功皇后が摂政69年(269)、陰暦の4月17日に御歳百歳で神上がりましてより1750年の式年にあたり、その年の皇紀929年の月日を太陽暦に換算した6月3日、神功



皇后千七百五十年式年大祭を齋行しました。翌年より、まず御陵の狭城盾列池上陵(奈良県)を遙拝し、神功皇后祭を齋行いたしております。神功皇后(息長帯比売命)は、主祭神応神天皇の母君であることから、聖母大神ともたたえられています。また、安産子育ての神として厚い崇敬を集め、戌の日には安産祈願を受けられる多くの参拝者で賑わいます。

## 大祓詞浄書(水無月書写会)



大宮八幡塾水無月書写会では夏越しの大祓に併せて、6月17日から25日までの間、りんどう会と共催で大祓詞書写会を開催します。期間中は午前9時半〜午後3時半まで茶室神

泉亭にて随時受付しており、約900字の大祓詞を書写して大神様のご神徳を戴きます。尚、浄書された大祓詞は大祓に引き続いて行われる奉納奉告祈願祭にて神前に納められます。

## 水無月 夏越しの大祓



6月30日は、午後4時より夏越しの大祓が齋行されます。大祓は6月と12月の晦日に行われ、歴史は古く平安時代の儀式書である『延喜式』にも記されており、知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを祓い清める神事です。一般の方々は、神職が6月24日から事前大祓式を行います(30日午後3時まで)。罪や穢れを移した形代を唐櫃に納めた後に神職のお祓いを受け、茅の輪・笹の輪を潜り、大祓当日と同じ形で大祓神事を行います。尚、当日午後4時の祭事は神職と神社役員のみにて執行いたします。



「水無月の夏越しの祓する人は千歳の命延ぶというなり」

## 平安の雅び第25回乞巧奠と 平成の七夕大宮八幡乞巧潜り

7月1日から15日まで、第25回平安の七夕乞巧奠が開催されます。清涼殿ロビーにて乞巧奠を再現展示します。技芸上達を願う乞巧奠は、古く平安の世より宮中を中心に広く行われた行事であり、現代でも公家であった冷泉家において行われております。また、神門前には梶の葉や五色の布を付けた平成の七夕大宮八幡乞巧奠潜りが設けられます。



## 「乞巧守」を奉製

「大宮八幡乞巧守」を、7月1日(文月朔日祭)より25日の大宮天神こどもまつりまでの期間限定で授与します。笹竹に紅白の七夕人形が付けられ、学業や技芸の上達を祈願し、乞巧祈願記入用乞巧五色御守



## 第23回納涼大宮天神こどもまつり 杜のひびきinおのみや

7月24日と25日の両日にわたり、第23回納涼大宮天神こどもまつりが行われます。24日は午後5時より大宮幼稚園園児、近隣の小中学生、崇敬者の方々からご奉納いただいた多数の書画行燈の献灯式が行われ、幻想的な雰囲気の中、宵宮祭を齋行いたします。翌25日は午後5時半より大宮天神こどもまつりが齋行され、午後6時半より杜のひびきinおのみや(時間をはずした日の祭事)が開演します。和太鼓奏者の響道宴氏による新型コロナ禍の熄滅を祈念した勇壮な和太鼓の演奏が奉納されます。



## 書画行燈の募集

納涼大宮天神こどもまつりにあたり、「書・画」の作品を募集します。奉納された書や画は、行燈に貼って灯りを点し、7月24日の夕刻より大宮天神祭の献灯としてご社殿前に掲出されます。書または水彩画は指定の用紙を、必ず横長に使用してご奉納(応募)いただいております。(※用紙は社務所にあります)「無料」





### 多摩清水社例祭



8月1日は葉月朔旦祭に引き続き御神水の湧き出る多摩清水社の例祭が斎行されます。水の大切な盛夏の時期に、水神様のご神徳をたたえ水の恵みに感謝の誠を捧げるお祭りです。神門を出た入口には、俳人阿波野青畝の「広き野に靈の清水のあるところ」と詠まれた句碑があります。

### 第40回戦没者慰霊祭

8月15日、第40回戦没者慰霊祭が斎行されます。当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者のご英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和を祈念します。



### 御鎮座九百六十年奉祝 大宮八幡祭り(秋の大祭)

#### 祭典日程のお知らせ(予定)

本年度の大宮八幡祭り(秋の大祭)は左記の日程により斎行されます。

\*9月15日(金) 神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並白幡宮例祭

\*9月16日(土) 宵宮祭

\*9月17日(日) 例祭併せて氏子奉幣祭・第35回神輿合同宮入り

\*9月18日(祝) 神輿神霊返し祭

## 第10回フォトコンテスト作品募集中 ～締め切りせまる～

大宮八幡宮の自然や祭典行事風景を、プロ、アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納いただく、第10回フォトコンテストを開催いたします。

今秋の大宮八幡祭り(秋の大祭)より境内に展示し、ご参拝の皆様にも楽しんでいただけます。

プロ・アマ・年齢不問  
小・中・高校の学生さんも歓迎!  
応募作品についての詳細は、社頭やホームページ上にてご確認ください。

協力写真店  
フォトグラフ三光堂(大宮八幡宮入口)  
カメラハウス本店(久我山)

締め切り日

令和5年7月31日

募集サイズ:  
2L・4ツ切サイズ

大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。(1人5点まで)



審査風景

但し、各神事での撮影禁止事項をお守り下さい。

\*入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用权は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させていただきます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させていただきます。)

### 過去9回の最優秀賞(宮司賞)入賞の作品

第1回



『当たれ!』大野 貴義氏

第4回



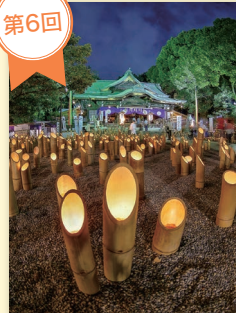
『十五夜の神遊びで神様もお喜び!』  
奥村 泰子氏

第5回



『後光さす八幡宮』  
早川 幸子氏

第6回



『竹取りの物語り』  
久保田 彬洋氏

第2回



『祭りだワッショイ!』大野 貴義氏

第7回



『明日へ』小竹 秀雄氏

第8回



『お父さん、コロナ退散するといいね』  
畠山 敏郎氏

第9回



『枝垂桜と燈籠』  
濱田 文夫氏

第3回



『後押し』杉園 幸司氏

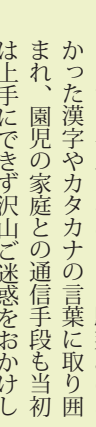
# 初宮詣芳名(敬称略)

(令和 4 年 11 月 21 日 ~ 令和 5 年 3 月 20 日)

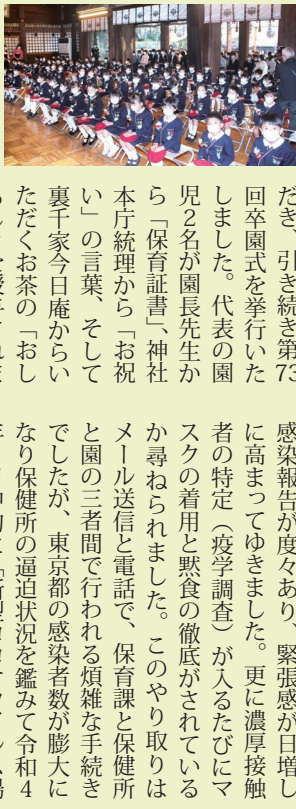
お子様のお健やかな成長をお祈り致します

- 秋場帆香 西山杏 河野知隼
- 八木蒼生 黒木帆高 阿部蒼大
- 山崎詩暉 赤坂葉月 加藤咲凜
- 山田泰河 岩間華歩 澤田萌那
- 前島有汰 岩間莉歩 津金優里
- 落合結渚 武木咲凜 鈴木笙
- 菅井洸 喜多見優花 目澤彩楓
- 八巻心晴 大下恵菜 早野類
- 稲毛太一 富永あいか 伊丸岡凛
- 千葉香晴 加藤陽風 阿部蒼大
- 石田李瑠 落合尚希 坂本彩寧
- 山口維斗 茶山日々希 坂本彩寧
- 坂本天音 今村仁 下村海翔
- 木戸美結 番場咲月 シヤロックミナ
- 金山杏珠 井上千遥 高山愛乃
- 加藤出帆 伊藤京 大西桃慈
- 増子陽大 中尾一葵 山本莞大
- 関口留華 市川真紘 佐藤怜
- 小林寛太 市川綾真 田中梨心
- 桜沢凌大 清藤穂佳 中井瑛万
- 小川凱士 吉本虎弘 中村祐奈
- 重田悠翔 高橋芽依 川西明夜
- 大久保律 永川楓 橋本杏
- 齋藤碧土 岸初夏 関詩桜
- 松森大晟 野中梨沙 溝口瑠香
- 石崎司 鈴木健士郎 三浦優士
- 中島颯志 橋木一成 成戸陽真里
- 相川果澄 伍嶋絵菜 丹下慧祐
- 伊藤彩夏 木山琴葉 大橋昇弥
- 斧原在音 山岡律輝 伊藤凜香
- 関口緒莉 森岡柚妃 江口蒼人
- 村田乃彩 三反畑理玖 西村碧
- 近藤謙志郎 江沢結斗 清水理玖
- 林星希空 金子泰千 小田葉
- 野澤美波 伊藤快 橋詰晴隆
- 重松俊佑 石田楓乃 土井楓花
- 渡部颯斗 澤口侑治 木藤光玲
- 設楽幸玄 萩原望乃 萩原望乃
- 安東陽春 飯島美来莉
- 平尾賢都 船田栞里
- 横山稔弥 吉光伸稜
- 入江湧斗 稲垣茅紘
- 濱田涼都 小野崎凜燈
- 佐藤碧 山口優依
- 阿部煌大 小野寺祥丹
- 森本啓斗 小林楓
- 山田律 小栗湊佑
- 瀨本茉弥 白居伶菜
- 小坂悠真 森澤ひなた
- 佐々木英人 浜田真優
- 司馬菜々実 望月惺
- 宇田川十樺 俵花那
- 臺ミツ 柚山伝之介
- 佐藤千紘 池田美音
- 佐藤黄康 中村仁美
- 中村仁美 神山杏
- 神山杏 瀧本渉太
- 酒井丞 成浦司
- 谷田旭 近藤朱莉
- 佐久間碧 島岳
- 山根千佳 和久菜大
- 池上義之 川口湊叶
- 岩下莉々葉 白井凛太郎
- 加藤珠々子 朝倉結月 押野瑞
- 高野麗 小笠原悠 松岡朔玖
- 立原純麗 宮本泰成 若浪琉聖
- 郡司風花 村上瑠梨 山本峰久
- 金田結斗 榎本樹 堀内琉生
- 金田湊斗 深澤利織 大瀧陸斗
- 古屋敷仰領 瀧川知也 榎原愛菜
- 柳原広晴 柚木涼之介 篠原愛菜
- 小林礼治 杉山凛音 谷口実優
- 大黒鈴華 小川紡生 松井那風
- 西内瑛菜 岡本彩来 岩下優瑛
- 井田月湖 小林新 水野風
- 堀江結衣 中村葵飛 仲尾周音
- 畑稜季 神澤悠人 山口蓮
- 下村紋加 下田楓人 荒井翔
- 小畑咲風 関駿来 池田映斗
- 中西透彩 中西透彩
- 堀内智貴 小島立葵
- 宮澤勇橙 酒井理央
- 舟橋穂 松本悠利
- 千原淳奈 清水咲菜
- 齋藤旺太郎 波岡智宇太
- 富岡琴葉 笹希唯
- 松本茅波 山田彩乃
- 御前温斗 谷川仁椰
- 清川愛莉 加藤惺
- 笹野蒼人 横山紘
- 原田美桜 加藤榮絆
- 鈴木奏斗 宮崎結
- 星野縞 飯塚寧
- 中井彩陽 松井航世
- 長田歩里 川上航雅
- 近藤百悠 星宮沙菜
- 杉本陸 寺田陽登
- 大野木陸 原田絃司
- 出分花奈 大谷翔
- 中谷旺志郎 山本泰芽
- ラトルル開於喜 津島煌
- 村山暉一 内田紬麦
- 市川滯 菊田歩夢
- 杉田心美 渡辺橙弥
- 秦悠真 石井海吏
- 武田望来 渡邊綱太
- 山田悠月 宮島一樺
- 京兼絵 櫛崎瑚恋
- 小川晴久 海老江莉実
- 澤田晃征 遠山諒
- 黒岡依紘 大島瑛奈
- 山本峰久 今村暖
- 堀内琉生 眞弓誉礼
- 大瀧陸斗 篠原愛菜
- 村部乙華 台司陽大
- 栗津歩 小川曜
- 犬塚実織 原田珠吏
- 谷口実優 繁田萱
- 松井那風 渡邊湊斗
- 岩下優瑛 近藤紀莉
- 水野風 浦松由稀乃
- 仲尾周音 宮下綺唯
- 山口蓮 二上希菜
- 荒井翔 池田映斗
- 池田映斗 池田映斗

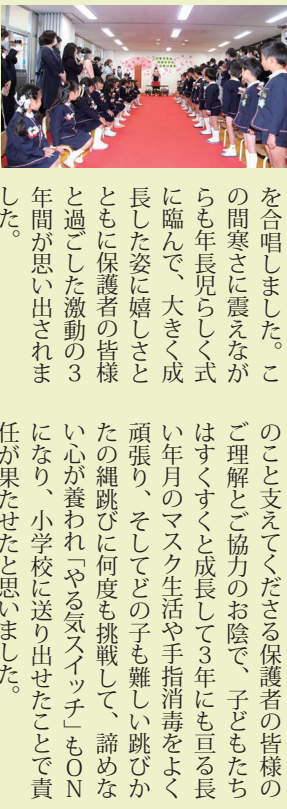
# とんぐり通信



令和 5 年 3 月 18 日、日降りしきる雨の中、幼稚園の玄関ホールで卒園児の子どもたちは胸に赤いばらのコサージュをつけてもらい、保護者の方と一緒に神門をくぐり大宮八幡宮御殿で神職さんに卒園奉告祭を執り行っていた



だき、引き続き第 73 回卒園式を挙行いたしました。代表の園児 2 名が園長先生から「保育証書、神社本庁統理から「お祝い」の言葉、そして裏千家今日庵から「ただくお茶の「おしるし」を授与されました。



御殿の外は雨が激しく降っておりましたが式は順調に進み、子どもたちが述べる「お別れの言葉」そして「君と僕のラララ」を合唱しました。この間寒さに震えながらも年長児らしく式に臨んで、大きく成長した姿に嬉しさとともに保護者の皆様と過ごした激動の 3 年間が思い出されました。

令和 2 年 3 月下旬、コロナの感染者数が増えてきているという情報にびっくり仰天して、さて、入園式はどうしたものかと相談しているうちに「外出自粛、緊急事態宣言、クラスター、オーバースhoot、PCR 検査……。新型

コロナウイルスをめぐり、馴染みのなかった漢字やカタカナの言葉に取り囲まれ、園児の家庭との通信手段も当初は上手にできず沢山ご迷惑をおかけしてしまいました。結局、入園式ができたのは 6 月 3 日で、御社前で夏服で行いました。2ヶ月間の休園明けは諸行事の中止、そして夜半に私の携帯電話に杉並区の保育課から園児家庭の感染報告が度々あり、緊張感が日増しに高まってゆきました。更に濃厚接触者の特定(疫学調査)が入るたびにマスクの着用と黙食の徹底がされているか尋ねられました。このやり取りはメール送信と電話で、保育課と保健所と園の三者間で行われる煩雑な手続きでしたが、東京都の感染者数が膨大になり保健所の逼迫状況を鑑みて令和 4 年 3 月中旬に「新型コロナウイルス陽性者発生の際の区への連絡方法が変わりました」と通達が入り、療養期間が終了した情報記載書は手続きが迅速に進められるようになり、提出される保護者の方も私達も少しホッと致しました。

このように感染症に振り回される日々でしたが、保育者の努力は素よりのこと支えてくださる保護者の皆様のご理解とご協力のおかげで、子どもたちはすくすくと成長して 3 年にも亘る長い年月のマスク生活や手指消毒をよく頑張りと、そしてどの子も難しい跳びかたの縄跳びに何度も挑戦して、諦めない心が養われ「やる気スイッチ」も ON になり、小学校に送り出せたことで責任が果たせたと思えました。

卒園記念の集合写真を撮るの間に、園長先生とほころび始めた園庭の桜の木を眺めながら、卒園児 90 名がここで学んだことをもとに幸せな人生を過ごしてほしいと願いました。

副園長 草村敏子

- 前田苑花 馬場一華 柿崎海呂 山本恵生 篠塚隆 富永蒼汰
- 網本伶 田村結美 松本望愛 虎渡風愛 波賀丈真 富永楓斗
- 高橋來愛 嶋崎蓮侑 小林詩季 榎野湊仁 小島純斗 栗原美鈴
- 安部凌久人 松本脩史 佐藤灯真 河野晴菜 小林聖 會澤健志
- 井上梓月 松本瑚大 井上紗綾 折笠華之 吉川正直 志々目伶旺
- 伊東紘希 西澤味生 近藤弘季 島田純末 八重田睦斗 大西悠木
- 鈴木詩乃 俵空希 妹尾鍊 松尾唯里 辻田莉々那 佐藤榮祐
- 澤田百葉 初田弥 大竹乃愛 佐藤奈ノ葉 小川新太 三谷暁都
- 奥野晴 高橋奈ノ葉 神崎奏海 清水美禮生 山下綴心 菅沼渚花
- 中原碧音 矢澤優星 新里類 福井喜暁 紺白 三浦美奈
- 齋藤颯真 大木琉瑚 中渡瀨音玖 西川海香 宮城和弦 小田悠貴
- 大藤里帆 竹内健翔 佐藤陽菜 細川凛斗 多田野綺七 大島颯央
- 杉岡紗来 佐藤陽菜 細川凛斗 多田野綺七 大島颯央 アルバート
- 入江凜 大島颯央 アルバート 鈴木このみ 平塚すみれ 菊池碧
- 佐々木真生 西澤朱莉 浅井環 齊藤鈴花 岡崎志成
- 松本華琳 井門和真 武田泰岳 和久利泰斗 郡司薫
- 築田唯緒 石黒英志 萩野谷蒼太 関本陽斗 越部紬
- 高橋いと 山本ひかり 高橋いと 山本ひかり 木内寧々
- 吉岡千陽 都築冬碧 渡邊楓子 井上湊翔 鎌倉陽大
- 渡辺柚希 井上華 浅田二風 坂本望未 岩瀬莉亞
- 土屋葵 富永伶 富永伶 富永伶

- 富永蒼汰 富永楓斗 富永蒼汰 富永楓斗
- 篠塚隆 波賀丈真 小島純斗 會澤健志
- 吉川正直 志々目伶旺 島田純末 八重田睦斗
- 大西悠木 佐藤榮祐 小川新太 三谷暁都
- 山下綴心 菅沼渚花 福井喜暁 紺白
- 三浦美奈 佐藤奈ノ葉 西川海香 宮城和弦
- 小田悠貴 細川凛斗 多田野綺七 大島颯央
- 大島颯央 アルバート 鈴木このみ 平塚すみれ
- 菊池碧 浅井環 齊藤鈴花 岡崎志成
- 岡崎志成 武田泰岳 和久利泰斗 郡司薫
- 築田唯緒 石黒英志 萩野谷蒼太 関本陽斗
- 越部紬 高橋いと 山本ひかり 木内寧々
- 木内寧々 井上湊翔 鎌倉陽大 渡辺柚希
- 井上華 浅田二風 坂本望未 岩瀬莉亞
- 土屋葵 富永伶 富永伶 富永伶

### 十三参り祈願のご案内

古来より数えて13歳になった少年少女が盛装して氏神様に参拝し、お祓いを受ける行事です。

13歳という年齢は自分の生まれた「えと(十二支)」が丁度一巡りして元の「えと(十二支)」に戻る年であることから、これまで健やかに成長できたことへ感謝するとともに、これから知徳福徳・美声等を授かるためにご祈願致します。

関西地方(特に京都)では七五三と共に大切な人生儀礼となっています。

### 結婚式挙式者芳名(敬称略)

(令和5年1月1日〜3月31日)

三橋謙一・麗子

- 森川菜羽 高根廉 田口健仁朗
- 坂口澄伶 田中翔琉 吉田遙音
- 土屋光花 山口新葉 瀧田裕翔
- 岡美依奈 清原和真 湯川千愛
- 佐藤こころ 狩野悠生 原八衛
- 濱田玄太 高野紡 伊藤蘭
- 今井菜乃 中村朋 渡部乃惟
- 上野莉果 江口樂 山田大翔
- 桑原英鈴 磯田紋杜 中野惺斗
- 野上仁 柏原立花 大江碧
- 樋口千晃 高山天寧 小林可歩
- 久重惺椰 吉田護 内堀新
- 池澤風花 藤麻美斗 池水佑陽
- 市原陸 吉越一義 青野結仁
- 近藤耀 関口湊大 片岡明希
- 大坂昊凜 倉谷結衣 布浦匡晴
- 市田紗菜 狐崎柗真 須藤秀策
- 畑聡之介 須藤秀策 須藤秀斗
- 山口羽望 金澤秀斗 守屋友梨奈
- 佐藤亘 守屋友梨奈

# 祝七五三詣

七五三衣裳展示会は随時行っております  
事前にご予約のご連絡をお願いします。

## 七五三年齢表

七歳 女児	平成29年生
五歳 男児	平成31年生
三歳 男・女児	令和元年生
	令和3年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。  
満年齢でお受けいただいても差し支えございません。

## 緑豊かな都心の杜。感動の瞬間

衣装・美容着付・写真・初宮饗膳(ご会食)など承ります。

**清涼殿** 03(3312)7515

御鎮座960年 奉祝

# わかば祭り(春の大祭) 5月3日~5日

## わかば祭り 第一日ノ儀

### こどもの祭り(稚児健康祈願祭)〔3日〕

第42回 稚児行列に、吹奏楽・スカウト・猿田彦・役員総代・こども太鼓山車など多くが供奉。



こどもの祭り(稚児健康祈願祭)



太鼓山車を曳く子どもたち

## わかば祭り 第二日ノ儀

### 植樹祭〔4日〕



植樹祭

## わかば祭り 当日祭(尚武祭)〔5日〕



宮司以下祭員の参進



宮司祝詞奏上



園児等による朝日子の舞奉奏



佼成学園吹奏楽部  
奉納演奏

〔3日〕



江戸消防記念会第九区  
奉納梯子乗り

〔3日〕



古武道武技奉納

〔4日〕



野点茶会(チャリテイ)

〔5日〕



雅太鼓奉納演奏

〔5日〕



方南エイサー踊り奉納

〔5日〕

大 宮 第126号  
令和5年 春の大祭号  
令和5年5月1日発行  
大宮八幡宮社務所

〒168-8570  
東京都杉並区大宮2-3-1  
電話 (3311) 0105  
FAX (3318) 6100  
Mail :  
info@ohmiya-hachimangu.or.jp

大祭期間中(3~5日)、境内では連日  
神賑行事が奉納されます。  
参道には露店が出店、大宮八幡植木市  
も行われます。